



横越
 一九八三年が村民皆様にとりまして、よい年になりまして、う心からお祈り致します。今年も健康で、多産で安産をする動物と出ておりました。それだけ健康的な動物なものであります。横越の子どもたちが、みんな健康でたくましく成長するように祈ってやみません。

今年も学校では小学校の増築した九教室が昨年完成、今まで不自由をしていた家庭科、図工、視聴覚などの特別教室

一九八三年が村民皆様にとりまして、よい年になりまして、う心からお祈り致します。今年も健康で、多産で安産をする動物と出ておりました。それだけ健康的な動物なものであります。横越の子どもたちが、みんな健康でたくましく成長するように祈ってやみません。

今年も学校では小学校の増築した九教室が昨年完成、今まで不自由をしていた家庭科、図工、視聴覚などの特別教室

道徳教育
 研究成果発表の年へ

究指導の成果を発表する予定で、先生方が意欲的に取り組んでいきます。この道徳研究で「地域に根ざした道徳性の育成」をめあてに指導を進め

究指導の成果を発表する予定で、先生方が意欲的に取り組んでいきます。この道徳研究で「地域に根ざした道徳性の育成」をめあてに指導を進め

十月下旬から工事を進めてきた「いなほ公園」が十二月十七日完成しました。

この公園は、都市計画事業の一つとして総工費八一〇万円を整備したもので、通称農協第二団地（横越下）の中央に作られ、面積は六四〇平方（一九四坪）あります。

公園内には、すべり台、鉄棒、砂場などのほか、休憩所（ベンチ）や便所もあって子どもたちの喜びそうなものが揃っています。また、一八〇平方の広場は、お年寄りのゲートボールの練習もできるようになり、多目利用が期待されます。



子どもの夢ふくらむ楽しい遊具

さいの神の準備で おおわらわ
 青少年育成会議小杉支部
 本番は1月15日

青少年育成村民会議小杉支部では、昨年五十年ぶりに復活したさいの神が、地区の皆さんに大変喜ばれたことから来年は思いっきり盛大にやってみよう、ということになりました。そこで役員が中心になり「ワラ東運動」を秋から農家組合など呼びかけ、ワラ集めを行なうなど、さる十二月五日には役員総出にトバカきやニオ積み作業を終え、準備万端本番を待つばかりとなりました。

さて、今年のさいの神はどんなアイデアで何が飛び出すか、役員の秘策は目下あれやこれやで、東奔西走。今年のさいの神行事は一月十五日に小杉、横越下木津、二本木で行われる予定です。



第九回
村民スキー教室
 のおしらせ

◎と き…1月30日(日)
 ◎と ころ…五日町スキー場
 ◎参加費…一般、高校生三千元、小・中学生二千元、幼児一千元(交通費、食事代含む。但し幼児は食事代が含まれません。)
 ◎定 員…七十名
 ◎日 程…集合午前六時(横越、田中石油前) 出発六時三十分(横越到着午後五時三十分)
 ◎申込、問い合わせ…1月20日までに申し込み下さい。
 横越村民館

建設工事入札結果

1.工事名	公共下水道枝管渠布設2工事
2.工事場所	大字横越(川根谷内)
3.入札月日	昭和57年11月9日
4.入札者数	7業者
5.落札額	2,100万円
6.落札者	田中組(田中一幸)
7.工事期	昭和57.11.9~58.3.8
1.工事名	公共下水道枝管渠布設5工事
2.工事場所	大字横越(川根谷内)
3.入札月日	昭和57年12月6日
4.入札者数	7業者
5.落札額	1,720万円
6.落札者	大橋組(大橋忠孝)
7.工事期	昭和57.12.6~58.3.15



横越村議会 浅見 良一
 村民の皆様、明けましておめでとございます。今年頭に当り、村議会を代表し村民の皆様の御多幸と御繁

栄を念じつつごあいさつを申し上げます。

昨年は待望の上越新幹線の開通など高速交通時代の到来を意味する一面もありました。が、反面、わが国の政治経済は極めて厳しい状況下におかれ、いわゆる、行政改革と財政再建のあり方をめぐり、その論議の高まった一年でもありました。

しかし乍ら行政には一日の停滞があつてはならず、常に村民福祉の発展を機軸として行かなければならないと考え

当面する農村総合モデル事業、公共下水道事業など継続事業等々その他の事業促進についても努力をつくす所存であります。

更に、役場庁舎の改築をはじめ、総合体育館、老人憩の家、商工会館、保育所の改築などその他数多くの住民要望が山積しております。

これ等の実現のため、皆さんと共に力を合せて全力をつくす覚悟であります。

一層の御理解と御協力を申し上げて年頭のごあいさつといたします。

横越村長 洪谷 泉
 皆様、明けましておめでとございます。謹しんで新春をお祝い申し上げます。

昨年は、二度の風害などで農家は豊作の夢を破られ、また、勤労者も不況に伴う倒産や賃金抑制、諸物価の高騰な

ど、家庭経済は非常に厳しかったと思われま

一方、村においても諸税の伸び悩みと国家財政の悪化による、地方交付税の減額もあり、かつてない財政危機が叫ばれた年でありました。

しかし、年度当初に計画した諸事業も順調に推移しており、特に米の生産調整は農家のご協力で目標が達成でき、また、小学校の増築工事も完成し、農村改善センターも今春には完成の運びとなり、藤駒地区前郷道路は舗装を含めて一カ年で完成することができました。

今日、国の内外ともに経済不況を抱えながら、国の行財

政改革がなされようとしており、今後の村財政も厳しさが加わるものと考えられます。

村が現在取り組んでいる公共下水道事業、小阿賀橋架替事業、農村モデル事業、県営亀田排水路バイパス工事の促進など、重要施策に取り組みながら新時代に対応する役場庁舎の建設は、昭和五十八年度に着工すべく計画し、そのほか国道バイパス、県道横越(新潟線)整備、大阿賀橋架替実現、市街化区域見直しなど、村の発展を念じつつ推進するものであります。

いずれにしても村民各位の変わらぬご協力をお願いし、年頭のご挨拶といたします。

われら亥の年、がんばるぞ



(横小6年生)